

No.169

発行日
平成30年11月1日

2018年
9月定例会



がんばろうぜ!!
平成最後の体育大会 (中谷中学校)

もくじ

- 議案審議 災害復旧等に3億7093万2千円を追加補正………2
- 委員会の活動報告 幼・小・中の空調設備設置に着手 ほか…4
- 一般質問 7人が町の考えを問う………6

いな
がわ
議会だより

災害復旧等に3億7093万2千円を追加補正

第391回 9月定例会

第391回9月定例会を9月11日から9月25日の15日間開会し、専決処分1件、平成30年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算1件、水道事業会計補正予算1件、人事案件2件、条例制定1件、条例改正1件、町道認定1件、水道・下水道事業会計決算2件、その他1件、議員発議1件を審議し、いずれも全会一致で原案のとおり可決・認定した。その他報告2件を受けた。平成29年度一般・特別会計の決算6件は各常任委員会に付託し継続審査とした。
一般質問は7人の議員が行った。

各会計の補正額		
会計	補正額	補正後の総額
一般会計	3億7093万2千円	99億6628万7千円
国民健康保険特別会計	6650万3千円	34億8794万1千円
水道事業会計	712万7千円	11億1513万3千円



崩落した護岸(大谷川・槻並)

決算認定

平成29年度水道・下水道事業会計決算を認定
経営状態が厳しい中、施設の修繕等更新計画の作成に取り組む。
(P5参照)

人事案件

副町長に宮脇修氏を選任
教育委員会委員に森口尚氏を選任

条例制定

開発事業の手続等に関する条例
開発許可を取るための手続きを定めるとともに、町や住民への説明を義務化。
(P5参照)

条例改正

農業共済条例の全部改正
法律名が農業災害補償法から農業保険法に変更。
(P4参照)

専決処分

一般会計補正予算
歳入歳出予算の総額に8535万5千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ95億9535万5千円とした。
○災害復旧費(農地農業用施設、林業施設、河川等) 7992万4千円
○総務費(職員手当等) 543万1千円

補正予算

一般会計補正予算
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億7093万2千円を追加補正。
(主なもの)
○公共土木施設災害復旧
○幼・小・中学校普通教室に空調設備設置着手
○危険ブロック塀撤去補助
○金山彦神社災害補修
○有害鳥獣対策補助
(P4~5参照)

町道認定

町道路線の全部又は一部廃止、変更及び認定
新名神高速道路の建設工事に伴い、広根・猪淵地内の町道路線について、全部又は一部を廃止、変更及び認定を行う。

その他

財産の交換
猪名川霊照苑の進入路及び施設の一部が民有地になり、施設の安定的で継続的な運営に支障をきたす恐れがあることから、当該土地を取得するため、町有財産と交換する。
(交換する財産)
万善の水道用地
(交換で取得する財産)
木津の山林
(交換の相手方)
有限会社 聖建設

報告

○健全化判断比率及び資金不足比率
○平成29年度教育委員会点検・評価

意見書を提出

ゴルフ場利用税の堅持を求める意見書
議員発議による意見書を審議

〈提出者〉 南 初男
〈賛成者〉 石井洋一、下坊辰雄、西谷八郎治、福井澄榮、中島孝雄、下神實千代

本会議

全会一致で可決

「意見書」を国へ提出

要旨

ゴルフ場利用税はゴルフ場所在市町村にとつて重要な財源であり、ゴルフ場へのアクセス道路の維持管理など、ゴルフ場利用者には行政の取り組みが享受されている。現在地方自治体が抱える多様な課題解決に必要な財源確保のため、現行制度が存続されるよう強く要望するものである。



境内の石垣が崩れた金山彦神社(银山)



崩落した護岸(仁部川・槻並)

総務文教

幼・小・中の空調設備設置に着手

9月12日、委員会を開会し、付託2議案を審査。主な質疑は次のとおり。**平成30年度一般会計補正予算**

◎ 学校の空調について
来年の夏までの設置は難しいと考えるが、今年のような暑さに対する対策は。
A 暑さ対策は、スポーツドリンクや経口飲料水も可能にしておき、今後必要なものについては体調に合わせて対応していく。工事実施時期は、財源を確保した中で工事費を計上し、来年度中に整備を完了したい。

◎ 避難所として学校の体育館が指定されているが、体育館に空調設備を入れる可能性はあるのか。
A 今回、実施設計委託料として普通教室と特別教室は必要最低限の設置をすることで計上。体育館の空調設備の整備は、今後の課題である。



一部の教室で設置されている空調設備

農業共済条例の全部改正について

◎ 当然加入から任意加入に、法律名も農業災害補償法から農業保険法に変わるが、農業共済特別会計の変更はあるのか。
A 現在は市町ごとに共済組合を持っているが、今後、平成32年を目標に県内一つの組合方式に変えることで進めており、その場合は特別会計を廃止する方向になる。
(いずれも全会一致で可決)

議会広報特別委員会

議会広報研究会に参加

8月3日、兵庫県民会館で県町議会議長会主催の議会広報研究会に、議会広報特別委員7人が参加した。グラフィックデザイナーで広報アドバイザーの長岡光弘氏による基調講演の後、広報紙「議会だより」第167号(平成30年5月1日発行)のクリック指導を受けた。



研究会の様子

愛知県南知多町議会が視察訪問

9月28日、愛知県南知多町議会同僚議員・総務建設常任委員会が、本町のBTO方式による学校給食センターについての行政視察のため来町。
議長、総務文教常任委員長の出迎えの後、教育長、教育振興課長の案内で町立学校給食センターを視察。給食センター所長が詳細を



愛知県南知多町議会が本町を訪問

説明し、その後意見交換を行った。

生活建設

危険ブロック塀撤去支援に補助金

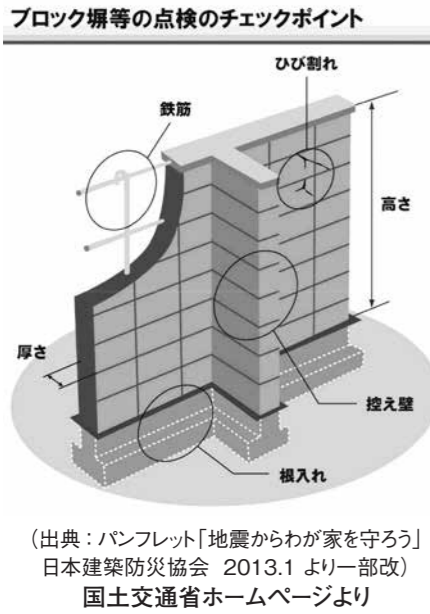
9月13日、委員会を開会し、付託7議案を審査。主な質疑は次のとおり。**平成30年度一般会計補正予算**

◎ 危険ブロック塀撤去支援事業で10件分を見込んでいますが、この予算で足りるのか。
A 本町で対象となるのは約20件と見込んでいる。今年度については10件分を計上、来年度も引き続き助成を行い撤去に向けて対応する。

◎ 明らかに危険なブロック塀があった場合、強制的に対処できるのか。
A ブロック塀は個人などの所有物となる。宝塚土木事務所と連携しながら、指導や助言を行う。

平成29年度下水道事業会計決算の認定

◎ 下水道を引いていない世帯はどのくらいあり、対象世帯への対応は。
A 30年4月現在で59世帯。し尿の納付書を送付



する際に、啓発文書と同封し、随時職員が個別訪問している。

◎ 経営状態が厳しい中、今後老朽化部分をどのようにしていくのか。
A 施設の更新を出来るだけなだらかに、悪くなる前に修繕し長持ちさせるといった更新計画の作成に取り組んでいる。

開発事業の手続等に関する条例の制定について

◎ 従来あった条例を廃止し、今回新たな条例を制定する経緯は。
A 従来の条例については、土地開発事業指導要綱に委任となっているため、要綱の手続きを経ずに許可を取るという行為があった。今回の条例制定では、開発許可を取るとともに、町や住民への説



広根地区内の町道を視察

明を義務化している。

町道路線の全部又は一部廃止、変更及び認定について

広根・猪淵地内における対象町道の現地視察を行った。
(その他、3議案についても審査。いずれも全会一致で可決)

お知らせ

町議定会派の異動・結成及び委員会委員の異動についてお知らせします。

会派の異動

いながわ元気
(所属議員数・会派名の変更)

代表 福井澄榮
岡本信司

会派に属さない議員(会派離脱)

久保宗一

会派の結成

いながわ住民クラブ

代表 中島孝雄
山田京子

絆ネットいながわ

代表 下神實千代
丸山 純

委員会委員の異動

議会運営委員会

平成30年9月1日付けで久保宗委員、丸山純委員が辞任し、新たに福井澄榮議員、中島孝雄議員、下神實千代議員が委員に就任しました。

議会広報特別委員会

平成30年9月1日付けで久保宗委員長が辞任し、新たに山田京子委員が委員長に、丸山純議員が委員に就任しました。

第391回定例会
一般質問

町の考えを問う

質問順	質問者氏名	質問事項
1	石井 洋二	・本町における「介護予防・日常生活支援総合事業」と「訪問型サービスD（移動支援）」活用について
2	池上 哲男	・教員の働き方について ・道徳の授業について
3	阪本ひろ子	・自助・共助・公助において、災害から生命を守る取り組みとは ・ジュニア救命士の取り組みは
4	岡本 信司	・水道事業について ・危険なブロック塀への対応について ・公園への防犯カメラの設置について
5	下神 實千代	・ピアサポーターについて
6	山田 京子	・災害への備えは万全か ・検診を、早期発見から予防へとシフトさせる考えは
7	福井 澄榮	・災害時の対応を万全に ・危険外来種の植物を栽培しないように

(詳細は6～9ページをご覧ください。)

Q 外部からの部活指導員配置の効果は

A 負担軽減・専門的な実技指導で貢献



池上 哲男 議員

中学校に1名ずつ配置。教職員の負担軽減、専門的な指導で貢献し、部活動の成果も表れている。拡充については、国・県の動向を見て検討したい。道徳が教科化され、評価が義務づけられた。しかし評価のポイントが明確でなく、「心の問題を評価するのは難しい」、なじめない」との意見が根

昨年、部活指導に外部人材の導入も含め教師の負担軽減を質問し、今年度から予算化されたが、運用状況は。また、有効であれば拡充の考えは。

強い。しかも教科書は検定が行われる。内心の自由に関わることであり、公教育での評価自体問題。子どもも褒められるよう行動するようになるとの懸念もある。どのような基準で行ったか。

【教育部長】学習による子どもの変化・変容を長期的に見取る中で、「一面的な見方から多角的な見方へ発展させているか」「道徳的価値の理解を自分自身とのかかわりの中で深めているか」に着眼し、自身の自己評価も加え、多面的に評価している。



外部指導員による部活動

Q 防災士資格取得への助成制度の拡充を

A 一定数確保し活動状況を見極めて検討



阪本ひろ子 議員

地域防災力向上の人材育成として「ひょうご防災リーダー講座」が開設されている。本町の防災士資格取得に係る支援制度をより効果的に運用するために「まちづくり協議会から1名」という枠を取り、町全体で10人、20人という枠にしては。

【企画総務部長】各地域で一定数の防災士が確保され、活動できる状況を見極めた上で「各まちづくり協議会から1名のみ」の規定及び助成交付対象者数に関して、改めて検討したい。



「ひょうご防災リーダー講座」のテキスト

Q 高齢者の移動手段の確保は

A 引き続き調査・研究していく



石井 洋二 議員

地域によって差はあるが、本町は総体的に自家用車がなければ住みにくい地域だ。しかし近年は高齢者の早期の運転免許返納が、より求められている。高齢者の移動手段の確保は重要課題である。介護保険制度にある地域互助による高齢者輸送サービス「訪問型サービスD」を活用しては。

【生活部長】「訪問型サービスD」を導入する場合、地域の理解と協力は不可欠。説明会や勉強会を通じて、連携と意識共有を図るとともに、他市の状況も調査・研究する。今後も、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるよう、基盤づくりに努める。



高齢者の移動に使われている福祉車両

Q 避難行動要支援者への支援体制は

A 新たに地域支援組織を立ち上げたい



山田 京子 議員



大規模災害時に開設する災害ボランティアセンター

地域防災計画に示されている避難行動要支援者への支援組織以外の支援者が必要だと考えるが。

企画総務部長 新たに地域支援組織を立ち上げた。

生活部長 自主防災組織や自治会は、地域支援組織の主体となつてもらい、民生・児童委員と共に平常時の見守りや個別支援計画策定などを実施することになる。

民生委員の中には災害時の活動に不安を感じた人もいたと聞いている。災害時の民生委員の役割は。

生活部長 地域支援組織の一員として個別支援計

画に基づき支援行動をすることに。

大規模災害発生時、ボランティアセンター開設の役割を担える人員の確保は。また、開設訓練は行っているか。

生活部長 社会福祉協議会では、被災地のボランティアセンターへの職員派遣や災害ボランティアセンター運営訓練に参加するなど、運営の具体的方法を学んでいる。来年度は災害ボランティアセンター開設マニュアルの策定や、開設訓練を予定。その際、町職員も参加するなどボランティア受入体制の構築を進めたい。

Q 公園への防犯カメラの設置を前向きに

A 必要性を点検し、地域団体と協議する



岡本 信司 議員



箕面市はすべての公園に防犯カメラを設置

子ども議会で、公園などへの防犯カメラの設置提案があった。見張られていると感じる人もおり、設置は考えていないとの答弁だった。公園の防犯カメラについてのアンケート調査をしたのか。

地域振興部長 調査は行っていない。国の「登下校防犯プラン」に基づき合同点検を実施し、防犯カメラの設置が必要とされた箇所は、地域団体と協議していく。

公園利用者のプライバシー保護への配慮は、防犯カメラの設置・運用基準を制定し、調和を図っているのではないのか。

地域振興部長 地域団体

には、プライバシー保護に配慮した運用規程の提出を義務付けている。

箕面市は、大阪で一番安全なまちをめざし、市内全ての公園に、市の単費で防犯カメラを設置している。本町も公園への設置を進めるべきでは。

地域振興部長 地域のことは地域自らが守るといふ基本理念の下、地域団体が設置、管理する防犯カメラに対し、町が助成している。公園にも増設できるよう支援する。

(その他の質問)

- 水道事業について
- 危険なブロック塀への対応について

Q てんでんこの教訓を子・職員・町民に

A 小・中学校の防災の副読本で学習



福井 澄栄 議員



伏見台4丁目の豪雨災害

「てんでんこ」とは東北地方で津波が来たたら、自分の命を守るために、てんでんばらばらに一人ですぐ避難し、一家全滅・共倒れを防げという昔からの教訓である。子どもたち、職員、町民に教えてほしいが。

教育部長 兵庫県内の小・中学校の副読本「明日に生きる」で学習しているので、子どもたちは心得を知っている。

7月豪雨で伏見台も土砂の流出で甚大な被害が発生し避難したが、避難場所と指定しているB&G海洋センターは一日しか開設されていないが。

企画総務部長 7月豪雨時、大規模災害が予想されたので、第2避難場所として開設した。今年も異常な高温で、全国で熱中症で死亡したり、意識不明になったり事故が相次いで起こっている。避難場所の体育館に空調設備を設置するべきではないか。

企画総務部長 体育館の空調設置は現段階では考えていない。体調不良の人は空調のある保健室などに避難していただく。

(その他の質問)

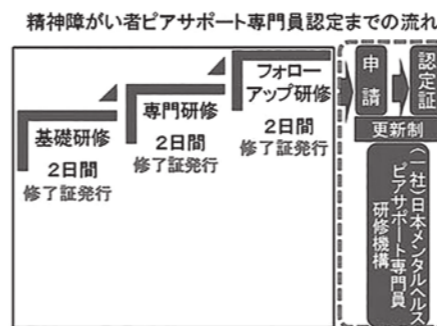
- 危険外来種の植物を栽培しないように

Q ピアサポーターの導入と今後の方針は

A 相談内容に応じた体制づくりを進める



下神 實千代 議員



ピアサポーターは本町にいないのか。

生活部長 現在、本町で活動しているピアサポーターはいない。

いらないなら今後どのように進めていくのか。

生活部長 精神障がいを含む障がい者相談は障害者相談支援センターにて対応。相談内容は多岐にわたる。相談全体数に占める精神的な専門件数は少ない。直ちに雇用・活用する状況にないが、今後の相談内容に応じた体制づくりを進める。

ピアサポーターの教育導入としての方向性、方針は。

ひとくちメモ

ピアサポーター
自らの経験を生かし、同様の患者や障がい者に悩む人に対し、その回復のみならず自分らしい人生を歩む手助けをする人。

バディ
二人以上が組んで学習活動を行うときの相棒・仲間のこと。

教育部長 児童・生徒が日々感じている問題の中には、教師や親、周囲の大人が入り込むことができないものがある。同年代同士だからこそできる援助があったり、同じ問題を抱えているからこそ同じ視点から援助を受けられたり、問題を解決できるなど大きな影響力を持つと考えられる。支援の必要な児童生徒に「バディ」として付き添ったり、支えるよう取り組んだりしている。名称は使っていないが、ピアサポートと同じ意義を持つ取り組みを行っている。

秋の始まり

山山が
紅に色づき
美しく

大島小学校六年
佐々木 蓮



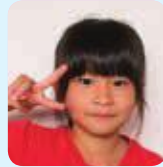
秋の俳句

秋になり
コオロギ鳴き出す
大合唱

大島小学校六年
清水 崇仁郎



せんせいあのね、きのうたい
ふうがきました。きのう、がっ
こうがおやすみだったのがざん
ねんでした。なぜなら、きのう
のきゆうしよくは、カレーチキンライスだっ
たからです。



猪名川小学校一年
金子 颯良

わたしは、おうじどうぶつえ
んで、うさぎをさわってみまし
た。わたしは、うさぎがすきに
なりました。いっばいさわって、
とてもたのしくて、うさぎをかいたくなりま
した。あたまをなでなでしました。だぎしめ
たくなりました。



猪名川小学校一年
佐川 あかり



獅子舞 (広根素盞鳴神社)



満開のそばの花 (柏原地区)



お米がおいしくなる (上野地区)

町内のインスタ映え

みなさんも議会・委員会を
傍聴しませんか

町議会では、身近な問題
などを議論しています。まち
づくりを一緒に考えてみましょ
う。

傍聴の手続きは簡単で、当
日議会事務局で傍聴受付簿に
住所・氏名を記入していただ
くだけで傍聴できます。
(議場20人、委員会室10人ま
で)

12月定例会

〈本会議の日程〉

- 12月7日(金) 第1日 議案審議
- 12月14日(金) 第2日 一般質問
- 12月18日(火) 第3日 議案審議

〈常任委員会の日程〉

- 12月11日(火) 総務文教
- 12月12日(水) 生活建設

※いずれも午前10時から

30年度定例会の日程(予定)

◎3月定例会

2月20日～3月22日

※議事の都合により変更することがあります。

表紙デザインの解説

本紙の表紙(表裏)のデザインは猪名川町の町木(松)、各頁のカラーは町花(つつじ)をモチーフにしています。



発行 猪名川町議会
編集 議会広報特別委員会

〒666-0292
兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1
TEL072-766-8710 FAX072-766-8882